

◎デザインは「制作レイヤー」、白版は「白版専用レイヤー」上でそれぞれ作業をお願いいたします。

※白版については、このテンプレートは全面白版ありとなります。
部分的に白版を使用される場合は、テンプレートが別途ございますのでそちらをお使いください。

◎フチ無し印刷をご希望の場合は、外側のトンボ（黒の破線）まで色や写真を配置してください。
（仕上りの外3mm分を塗りたし）

◎文字や絵柄で切れて困るものは、仕上りの位置より2～3mm内側（ピンクの破線内）に配置してください。

◎プロセスカラーのデータは特色を使用せずCMYKで作成してください。配置画像はCMYKまたは
グレースケールで作成します。適正解像度は350dpiです。

◎文字はアウトライン化して（書式メニュー→アウトラインを作成）ご入稿ください。

◎溶接部分は印刷は可能ですが、熱によって剥がれや、乾いたインクの粉末の残りが目立つ場合がございますので、
データをひかないことをおすすめいたします。

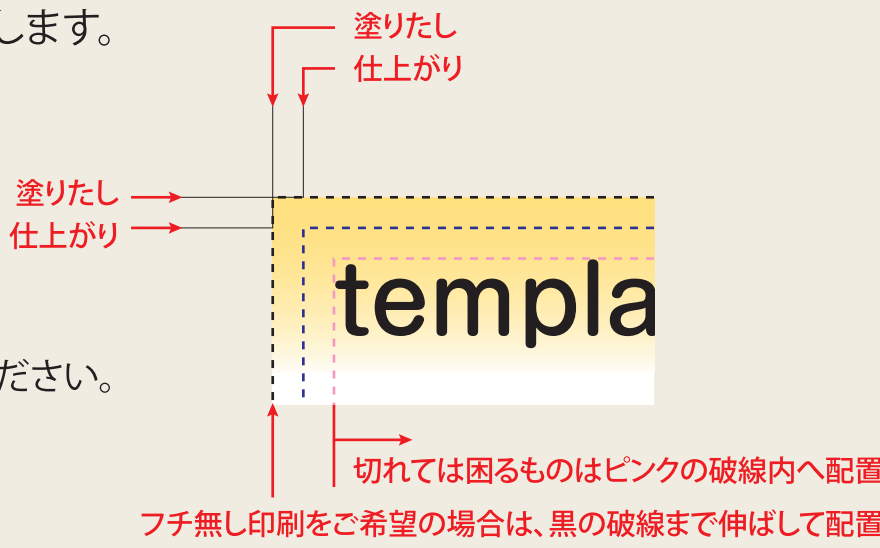
◎パターン機能を使用した場合、「分割・拡張」の処理を行ってからご入稿ください。

◎K100%のみにブラックオーバープリントが適用されます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を設定します。

◎オーバープリント設定に関しては、お客様がモニターでご覧になっている状態を保証できません。ブラックのみに使用してください。

◎線の太さは0.2pt以上にしてください。ヘアライン（塗のみの野線）は印刷されません。必ず線設定をつけてください。

◎入稿用データは別名保存し、開いたバージョンで保存をお願いします。（IllustratorCS6での作成であれば、保存バージョンをcs6にしてください）



白版が必要な場合のデータの作り方について

クリアファイルは透明な素材のため、透けて欲しくない部分、白く見せたい部分には白版が必要です。

白版はカラーより0.1mm小さく作成してください。
クリアファイル素材の特性上カラーと白が0.1mmほどずれるため、目立たない様に白のサイズを変更する必要があります。
カラーのオブジェクトより、0.1mm小さいサイズで白版を作成して下さい。
色はスウォッチパレットから『White』をお選び下さい。

周囲は透明で、文字やオブジェクトに白をひく場合



■-0.1mm小さいサイズにする手順

オブジェクトを選択した状態で、メニューの『効果』→『パス』→『パスのオフセット』を選択。
オフセット値を『-0.1mm』に設定して下さい。
パスのオフセットを設定しましたら、必ずメニューの『オブジェクト』→『アピアランスの分割』を選択して下さい。
オブジェクトに白いフチを付ける方法だと、工程上上手く処理されません。必ず「パスのオフセット」を使用して小さくしてください。

20pt未満のK100%部分には白版は作成しないでください。
白版レイヤー内に、プロセスカラーのオブジェクト等が残っていないかご確認ください。

白抜き文字など、白抜きにしたい場合は0.1mm大きい白版を作成して下さい。

周囲は白版ありで、文字やオブジェクトを透明に抜く場合

